

八咫鏡

高松

Vol.33

発行2016年1月

2015年の漢字

迎春 安



栗林公園内の商工奨励館



高松市上下水道工事業協同組合

〒760-0018 香川県高松市天神前5番30号
TEL 087-831-5633(代) FAX 087-861-9921

新年のご挨拶

高松市上下水道工事業協同組合
理事長 岩井 孝博



新年、明けましておめでとうございます。

常日頃、高松市上下水道局様のご指導と共に、組合員の皆様、賛助会員の皆様、そして協力会員の皆様におかれましては、組合運営に格別の御理解、御協力を賜りまして深く感謝、御礼申し上げます。

さて、昨年(平成27年)10月30日に四国の四市管工事組合連絡協議会が高松で開催されました。

8月にリニューアルオープンしたばかりの栗林公園の商工奨励館にて四市の水道事業管理者に立会い頂き、災害時における今までの防災協定の見直しを図り、刷新した協定の再締結が無事なされました。これにより将来起こりうる南海トラフ地震などの災害に対して、応急給水や相互援助を行うべく、四市が手を取り合い助け合える体制に向けての環境づくりを再構築する事が出来ました。また、この再締結により四市の水道組合の関係促進はもちろんですが、上下水道局との災害時における連絡体制の強化や、官民の防災に対する意識の向上にも繋がる意義深い調印式となりました。

組合員の皆様におかれましても、対岸の火事や他人事と捉えることなく、災害時には敏速なる対応が取れるような体制作りを強くお願いいたします。

また、高松市は未だ多くの家庭で鉛製の給水引込管を使用して

います。この問題について、特に今年(平成28年)から、鉛管使用のゼロ化を目指すことを目標に、組合員の皆さんに助成金制度を活用して頂きながら新しい管に取替する方向性で進めていきたいと思っています。

またこれは私個人の考えになりますが、この機会に出来れば今後の50年、100年先を見据えて、いわゆる21世紀らしい水道メーター周りの基準作りを考えるべきだと思っています。

今の時代から、自分たちの子供や孫の時代に合わせた新しい水道メーターの基準作りを皆で作りませんか。例えば、電力メーターはすでにデジタル化しているように、水道に関してもまだまだ改革の余地はあり、そして今がその大きなチャンスの真只中にあるのではないかと思います。

私たち組合員の今後の使命としては、まず鉛管の引込管を無くし、次に老朽化した管の改修や耐震管への移行、そして数年後に迫っている水道事業の香川県下統一や基準造りにも向けても、やるべきことが沢山あります。

一步でも前に進む事が出来ますよう、今後とも皆様方のご協力をお願い申し上げますと共に、さらなるご発展をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成28年 頌春

平成28年 年頭の挨拶

高松市上下水道事業管理者
石垣 佳邦



新年明けましておめでとうございます。

平成28年の年頭に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

高松市上下水道工事業協同組合の岩井理事長様を始め、役員、そして組合員の皆様には、日ごろから、本市上下水道の普及推進と維持管理、また、漏水事故等に備えた24時間365日の待機体制、さらには、円滑な事業運営に格別な御尽力・御協力をいただいておりますこと、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

さて、皆様も御存知のとおり、県内水道事業の広域化につきましても、昨年4月1日に香川県と水道広域化に参画する県内14市町で構成される「香川県広域水道事業体設立準備協議会」が設立されて以降、同協議会と、その下部組織である幹事会が各2回開催されるなど、広域水道事業体の設立に向けた具体的な協議が開始されております。この中で広域化に向けたスケジュールでは、平成29年秋に「企業団」を設立し、翌30年4月から企業団としての事業を開

始する目標が示されたところでございます。

本市といたしましても、人口減少に伴う給水収益の減少、水道施設の大量更新や耐震化、さらには、香川用水を含む柔軟な水運用等による渇水への対応など、県内水道事業が抱える様々な課題を克服し、将来においても持続可能なものとするためには、水道事業の広域化は、極めて有効であると考えており、広域化の実現に向けた協議・検討に積極的に関わってまいりたい所存でございます。

貴組合におかれましては、今後とも、水道施設の維持管理を担う事業者としての立場から、様々な御助言・御協力を賜りますよう、改めてお願いを申し上げます。

最後になりましたが、貴組合の今後ますますの御発展と、岩井理事長様を始め、役員、組合員皆様方の御健勝・御活躍、そして、本年が幸多き年となりますことを御祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

全国組織の総力で地域と 水道の安定供給に貢献し 組合の存在意義を高めよう

全国管工事業協同組合連合会
会長 大澤 規郎



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年は、全管連の要望が実り、改正品確法運用指針に地元業者の優遇や地域精通度の高い事業協同組合、特に官公需適格組合の積極活用等が盛り込まれ、地域インフラの担い手たる工事業者の活用への道筋が示されたほか、平成27年度水道施設整備費に係る歩掛表の改定で、全管連がかねてより要望していた諸経費率が見直され、現場管理費率、一般管理費率の引き上げが実現しました。

また、10月の日本水道協会の全国会議併設の水道展では、全管連ブースを初出展し、全国の水道関係者に組合の存在、意義を訴えました。

反面、規制緩和の影響により、今や指定給水装置工事業者は20万者を超え、当初から約9倍にも急増するに伴い、不良・不適格業者による水道トラブルも後を絶たない状況となっています。全管連では、水道使用者が安心して工事を依頼できるように、また、日頃から技術・技能の研鑽を積み、適正な工事施工を提供することで水道の安定供給に貢献している地域の指定工事店を守る業態をしっかり和残すべく、指定給水装置工事業者制度の見直しを自民党水道事業促進議員連盟と緊密

に連携を図りながら、引き続き国や関係機関に積極的に働きかけてまいります。

一方で、我々の業界においては、資材費の高騰、少子高齢化に伴う会員の高齢化や後継者不足、さらに次代を担う若年者の業界離れ等の構造的な問題が浮き彫りとなっています。それらの課題の中でも我々が最も懸念しているのが技能者の不足、とりわけ若年者の教育と技能継承です。将来の担い手の確保、育成は業界挙げての急務となっています。これまでも全管連では、設備工業学科を有する工業高校の先生方と連携して、技能検定試験を受けるための練習材料を提供するなど支援に取り組み、併せて技能検定試験2級合格を目的とした「若年者のための建築配管施工基本実技シート」を作成しました。また、1級管工事施工管理技術検定試験の学科試験の合格率は過去最高の51.2%となりました。平成24年以降3年連続で合格率は上昇しており、よりレベルアップした技術・技能を持つ人材の確保へつなぐること大変心強く感じています。全管連では、今後も次代を担う若者が夢を持って業界へ入職してもらえる環境づくりを着実に進めてまいります。

さて、今年7月に開催する通常総会及び全国大会等は、近畿ブロック大阪府支部の大阪府水道工事業協同組合連合会(会長・前田隆司氏)に担当いただきます。開催地となる大阪府は、人口270万人を擁する西日本最大の都市として発展を続け、多彩な文化と歴史、多様なエンターテインメントに満ちた活気あふれる世界に誇る大都市であります。そして「天下の台所」と称され、今もその名にふさわしい、食い倒れの街として有名です。地元大阪府連においては、参加される方々を迎える準備を進めておりますので、全国から会員各位の多数がご参加を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、会員団体の一層のご発展と所属員各位の事業のご繁栄を祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

平成28年年頭の挨拶

高松市上下水道局
局長 細川 公紹



新年明けましておめでとうございます。

平成28年の新春を迎え、一言御挨拶を申し上げます。

高松市上下水道工事業協同組合の岩井理事長様を始め、役員、そして組合員の皆様には、常日ごろ、本市上下水道事業に対しまして、格別の御理解と御協力をいただいておりますこと、心から敬意と感謝を申し上げますとともに、年末年始の緊急時当番体制実施に当たりましては、格別の御配慮、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、2月6日に徳島県南部を震源とする最大震度5強の地震が発生し、本市においても最大震度3を観測したほか、9月には関東・東北地方で豪雨災害が発生し、茨城県常総市では浄水場の浸水により最大で1万世帯以上が断水するなど、改めて自然の脅威を痛感した1年でありました。

住民生活と社会経済活動を支える上下水道事業者には、災害の発

生時においても、災害等への応急対策業務はもとより、水道水の安定供給や汚水の適正処理、雨水の排除など、基幹業務の継続実施が求められております。

本市上下水道局においては、地震・津波対策マニュアルを始め、各種危機管理マニュアルの整備・見直しを行い、有事における迅速で効率的な初動対応や復旧対応など、危機管理体制の充実・強化に取り組んでいるところでございます。このような中、昨年10月に、四国四市間で、管工事組合相互の災害時応援協定の締結が本市において行われましたことは、誠に心強い限りでございます。

本年は、南海トラフ巨大地震の発生に備え、各種危機管理マニュアルに基づく、各種災害対応力向上のための訓練を実施し、実効性を高める必要があります。各種訓練の実施に当たりましては、高松市上下水道工事業協同組合員の皆様にも、長年培われた豊富な経験や卓越した技術力をもって御助言・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この1年が高松市上下水道工事業協同組合員の皆様にとりまして実り多き年となりますこと、また、貴組合の今後ますますの御発展と組合員皆様方の御多幸を心から御祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

高松市上下水道工事業協同組合
顧問 三笠 輝彦



新年明けましておめでとうございます。

輝かしい希望に満ちた平成28年がスタートし、高松市上下水道工事業協同組合の皆様方におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

常日頃、皆様方には、本市の上下水道事業の普及促進に向けて、技術の向上や経営の改善などに積極的に取り組まれておりますこと、深く敬意を表しますとともに厚くお礼申し上げます。

私たちが、普段、何気なく使っている水は、毎日、安全に供給されて当たり前のように思っておりますが、水道は、住民生活や社会経済活動を支える上で最も根幹となるライフラインであり、また、自然災害や水質事故などの非常事態時においても、市民の生命や生活維持のため、将来にわたって安全で安定して機能することが上下水道事業には求められております。

このような中、県内の水道事業の多くは、施設稼働後40年余を経過し、更新時期を迎える一方、人口減少に伴う水道料金収入の減少や職員の大量定年退職による技術力継承問題、また、頻発する渇水への対応など、さまざまな課題を抱えております。

これらの課題に各水道事業者が個別に対応するには限界があるとして、県においては、県営水道事業を含む県内の水道事業の統合・広域化を図るべく、昨年4月、直島町と坂出・善通寺両市を除く14市町により設立した県広域水道事業体設立準備協議会では、同年11月、平成29年秋に、県と各市町で運営母体となる企業団を設立して事業を統合し、30年4月からの広域化を目指す方針を明らかにしました。

このように、県下の上下水道事業をめぐる情勢は急激に変化しようとしておりますが、どうか組合員の皆様方におかれましては、未来の世代に引き継ぐ健全で信頼される上下水道事業の実現に向けて、なお一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、高松市上下水道工事業協同組合のますますの御発展と組合員皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げます。新春の御挨拶とさせていただきます。



平成28年年頭の挨拶

高松市上下水道工事業協同組合
副理事長 松浦 一郎



新年明けましておめでとうございます。
皆様方には、お健やかに新年を迎えられたことと心より
お喜び申し上げます。

昨年度、高松市は大きな災害もなく、また夏場における
水不足の問題もなく比較的穏やかな日々が過ごせたかなと
思います。

私個人的には、社内業務・組合業務・地域社会での活動・
私生活と忙しい日々でしたが、「何事にも一生懸命に取り組
む」の精神でおりますが、ミスショットが出てしまった事が
あったので、今年は自分の気持ちを引き締めて日々の生活を

送っていきたいと思います。

組合は昨年度から中長期における水道施設工事の施工を
見直しました。配水管の布設工事、また配水管の漏水や地
震発生時におきた災害復旧等を多くの組合員の手で施工が
出来る様になろうとスタートを切りました。私も昨年11月に上
下水道局職員による配水管工技能研修に参加させて頂き、
実際に配水管を組立てたり解体する作業を行ってみました
が、資格は持っていても実際に施工をしていなかったので
大変勉強になりました。

今年も配水管における講習会を積極的に開催していき、
少しずつ組合員の配水管施工の技術力の向上に繋げれるよ
うにしていきたいと思います。

また組合事業運営においては、組合員の皆様の御協力が
なければ成し得る事が出来ませんので引き続き今年も宜し
くお願いします。

組合員の皆様のご健勝とご多幸を祈念して新年の挨拶と
させていただきます。



新年のごあいさつ

高松市上下水道工事業協同組合
専務理事 奈良 稔



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には本年もご支援とご協力を賜り
ますよう宜しくお願い申し上げます。

昨年の高松市の水事情を振り返ると、ライフ
ラインの一翼を担う当組合にとり大きな憂いもなく
何よりの年でなかったかと思えます。

昨年の組合研修旅行は大災害からの復興途上の
東北地方を選定し視察と研修をかさねました。被

災された方々に当時の話を聞き圧倒的な被災状況
に改めて胸を痛めました。少雨に泣かされる我々
と何百年に一度は大津波に生活の全てを失う東北
地方。文明がいかに発達しても人間の営みは大小
別にして自然現象に翻弄される、と実感しました。
大災害時には、私達組合員が高松市民の生活を維
持できるようライフラインの復旧に全力を傾注し
なければならない、との決意を強く持った研修旅
行でした。

迎えました本年も渇水に翻弄されない一年であ
る事を願いつつご挨拶といたします。



新年挨拶

高松市上下水道工事業協同組合
相談役理事 中川 悟



新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

昨年を顧みますと、政府において改正品確法を始
めとする担い手3法の運用元年で、建設業界に
とっては、極めて重要な大きな変革の年でありま
した。

しかし乍、地方においては、公共投資額の削減
が起因し、若年入職者の減少や高齢化が進み、技

能・技術労働者不足が顕著にあらわれ、加えて建
設機・資材の高騰により、依然として厳しい状況
下におかれておりますことは、ご高承の通りでご
ざいます。

私たちの業界でも、今、高齢化が進む反面、若
年就職者が減少し、労働者不足が問題になってお
ります。市民のライフラインを補う者として、魅
力ある組合として岩井理事長と共に、それを伝え、
未来へつなげる人材を育てる事が重要だと思いま
す。そのためにも、今まで以上に組合力の強化、
また組合員同士の連携が必要になってくるのでは
ないでしょうか。

結びにあたり、本年が皆様にとりまして、幸多き
年となりますよう祈念し新年のご挨拶と致します。

新年挨拶

高松市上下水道工事業協同組合
青年部 部長 三島 季夫



平成28年、明けましておめでとうございます。

旧年中は青年部会の活動に対し多大なる御理解・御協力を賜りまして有難う御座いました。部会員を代表しましてこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて私が部会長の任を仰せつかり早くも9か月が過ぎました。長年、青年部会の役員として尽力してきたつもりではありましたが、いざ‘部会長’の立場に立ってみると戸惑うことばかりの日々が過ぎ、一筋縄ではいかない事に苦悩しております。

青年部会の活動としましては通年の活動に加え、

9月にサンポート高松で行われた香川県中小企業団体中央会青年部主催の‘第2回 さぬき産shokuフェスタ’に体験型ブースを出展し、子供たちにパイプ工作を楽しんでもらったり、保護者の方には災害時における宅地内での止水の方法を説明したり、水だよりも掲載されている鉛管取替の助成制度についての説明ブースを設けたりしました。また、11月には(株)川本製作所様のご協力の下、ポンプ組立て工場の視察を行いました。その中で川本様の執拗なまでの品質及び製品管理に敬服させられました。

新しい年を迎え正月気分が一段落する頃には次年度に向けて事業の見直し、新たな事業計画が始まります。親組合・賛助会員の皆様、協力会員の皆様からしますとまだまだ至らぬ点の多い私共青年部会ではありますが、今後も益々の御指導・御鞭撻を頂ければと思います。

水明会 新年ご挨拶

高松市上下水道工事業協同組合 婦人部
水明会 会長 高橋 美恵子



新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

水明会の会長をさせていただき、早や2年目になりました。皆様方には、十分な事が出来ませんでした。今年も精いっぱい努めさせていただきます。

今年の干支はさる年ですが、昔の人々より、さる・とり荒れる、いぬ温いとの言い伝えがあります。今年の目標は、社会福祉・防災対策・支えあい・声かけを中心とした活動

を、水明会の会員皆様と一緒に、取り組んでいきたいと思っています。

去年の9月26日、秋の会の班長、奈良智子さんとの皆様のお世話で、バスで行く、『秋の高知県奈半利町並み散策と霧の森』の一日旅行に参加し、楽しい思い出を作ることができました。

今年も公私共々に気を緩めることなく取り組んで参りたいと思いますので皆様方にも更なるご協力をお願い致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年挨拶

タカラ通商株式会社
西近畿支店 高松営業所 朝倉 直人



新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様には、日頃より格別のお引き立てを賜りまして、厚く御礼申し上げます。

弊社は1960年創業以来、水道用配管材料の販売に携わってきました。蛇口をひねれば当たり前のように出てくる水ですが、世界には深刻な水不足に苦しむ人々があります。しかし、日本も決して水が豊富にある国とはいえません。香川県でも毎年夏になると

水不足が心配になります。水は、私たちの生活に欠かすことのできない資源であり、節水を心がけ大切にしていかななくてはならない物です。

私共、タカラ通商は水に関わるサポーターとして水道材料・配管材料の販売を軸に、住設機器も扱う商社として明るく、楽しく、大きく躍進をモットーに日々努めて参ります。

今後とも組合員の皆様方のより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い致します。

業務委員会 委員長

太善工業㈱
阿野 善一



新年あけましておめでとうございます。

組合員皆様方におかれましては、よき新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は四国四市災害協定の再締結も無事終わり、新たな四市の協力体制を構築する事が出来ました。これも組合員皆様方のご理解とご協力のお蔭と感謝しております。

本年も立ち止ることなく常に前進を心掛け、岩井理事長を筆頭に、昨年より更に強固な組合運営を目指して努力して参りますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

総務委員会 委員長

㈱福田工業
福田 融人



新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、健やかに平成28年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は四市における災害相互応援協定の再締結が結ばれました。来る南海地震、また大雨等の災害時に四国が一つになり協力し合えるすばらしい協定が再び結ばれたことを大変嬉しく思っています。

昨年の研修旅行で岩手県を訪れた際に若い「語り部」さんから「みなさんにとって幸せってなんですか？」

という問いかけに胸が締め付けられたのを覚えています。

そんな時に物資などの応援はもとより、心の支えとしてお互い助けあえる協定になれば良いと思います。

最後になりましたが、組合員皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げまして、新春のご挨拶とさせていただきます。

技術委員会 委員長

㈱安西工業所
安西 明裕



明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新年のあいさつを交わしたのが、つい先日のことと思えるほど一年が経つのは早くなっていると痛感しております。今年は申年、相場格言では「申酉騒ぐ」ですから慌ただしい年になるのでしょうか。じっくり腰を落ち着けて過ごしたいものです。

さて、昨年一躍脚光を浴びたスポーツにラグビーがあります。決して日本ではメジャーとは言えない競技が注目されました。素晴らしい事だと思います。一層発展して欲しいものです。管工事業は災害復旧時には注目されますが、平時は建設業の一つとしか見られません。ライフラインに携るものとしては不満が残る所です。

組合員の皆様とともに、社会的、経済的地位の改善向上を図っていくと、努力してまいりたいと思います。

厚生委員会 委員長

㈱広瀬住宅総合サービス
広瀬 英行



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の組合研修旅行は少し足を延ばして、秋田そして岩手の方面へ行ってまいりました。

一番の印象はやはり、復興道半ばの被災地の現状でした。

被災の現状もそうですが、なにより日常仕事のモチベーションとなっている愛する人が目の前から、いなくなってしまうという現実がいきなり目の前に現れた時、自分だったらそれをどのように乗り越えていくだろうか、等色々なことを考えさせられました。

合わせて日頃、災害の少ない高松の地で生活をさせて頂いていることに改めて感謝の気持ちを持つことができた研修であったと思います。

厚生委員会では、今後も組合員の皆様からの多くの意見を集約し、なるべく多くの方と思い出や、体験が持てる場を増やしていければと思っております。組合員皆様のご貴重なご意見をお待ちしております。

広報委員会 副委員長

不二設備工業㈱
安藤 慎男



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

組合員の皆様におかれましては旧年中も大変お世話になり誠にありがとうございました。

今年はリオ五輪も開催され、なにかと慌ただしい1年になるかと思いますが、私もより一層気を引き締め今までにないような改革を行い、激動の1年を乗り切って行けたらと思っております。

まだまだ若輩者でございますが、組合員の皆様の少しでもお力添えができるよう精いっぱい頑張りますので何卒今年もよろしくお願いいたします。

技術委員会 副委員長

㈱浮田設備工業所
浮田 浩之



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶びを申し上げます。

昨年度は、9月に給水装置工事主任技術者試験準備研修会の講師として、10月から11月にかけては、建築配管のマイスターであります岩井理事長を中心としたものづくりマイスターによる実技指導のサポートを、同じく11月には、給水装置工事配管技能検定会の実技監督員として、12月には、1・2級技能検定準備研修会を開催いたしました。

今年度はさらに一層、安西技術委員長ともども、組合員の皆様にタイムリーな技術講習会の開催など実施できるよう努めてまいりたい所存であります。

組合員の皆様のご健勝と益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

業務委員会 副委員長

(有)田中水道設備
田中 壽則



明けましておめでとうございます。

昨年組合の行事において一番印象に残っていますのは、東北への研修旅行です。それは私自身にとって大変衝撃を与えるものとなりました。

被災地の全く何もない景色、静まり返った町、まだまだ復興が進んでいない状況に愕然としました。

がしかしそのような状況にもかかわらず、一步ずつ前向きに歩こうとしている姿には感銘を受けました。

彼らのことを忘れず、私もまた気持ちを新たに、頑張っていこうと思っています。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

資材委員会 委員長

織田設備(株)
織田 将男



新年あけましておめでとうございます！

皆様方におかれましては、2016年の輝かしい新春をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

日頃は資材の購入並びに販売にご協力頂きましてありがとうございます。

本年もさらに厳しい市況が続くかと考えますが、常に柔軟かつ的確に何事にも対応し、組合の発展に務めてまいりたいと思います。

終わりになりますが、平成28年が幸せ多い年でありますこととともに皆様方のますますのご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

広報委員会 委員長

(有)友澤電設
友澤 幹知



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては日頃より組合の活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。

広報委員会として本組合機関誌「水だより」の発刊と組合HPの更新、その他様々な広報活動を皆様のご協力を賜りながら従事させて頂いております。

昨年6月には組合HPを一新し、より見やすく訪れやすいページを目指しております。昨年の臨時総会でも周知させて頂きましたが鉛管取替工事の増加を見据えての専用ページを設けると共に水道パイプを使った作品アイデアの募集も今後周知させて頂きます。組合広報活動を通じて組合員の皆様にも少しでも御支援になればと思います。今後も進めさせて頂きますのでご協力宜しくお願い致します。

水だよりや組合HPに掲載情報のある方、要聖・活用方法などございましたら私の方まで連絡頂ければと思います。

簡単では御座いますが、皆様方には、本年のより一層のご活躍を心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

厚生委員会 副委員長

(株)藤川設備
藤川 浩二



明けましておめでとうございます。

「今年こそは、良い年になります様に…」毎年願っていますが経済は不安定な風が吹き荒れている様です。

目先の売上高を一喜一憂するより、中身のある企業を求められる時代となりました。利益を伸ばすには、「売り上げを上げる事」と「支出を減らす事」この2つの方法しかありません。まず、売上げを伸ばす事は、なかなか困難ではありますが、当組合は常に新たな挑戦をして組合員の皆様に喜んで頂ける様に頑張っている毎日です。支出を減らす方法は、組合員様同士のコミュニケーションの中で新しい気付きが生まれるはずですが、

乾いた雑巾もまだまだ絞れる余地があるかも知れません。組合員の皆様が協力しあって、一致団結して良い一年にしましょう。

メールが活躍する便利な時代ですが、一年の始まりの挨拶ぐらいは、出来れば直接顔を見ながら挨拶を交わしたいものですね。

どうぞ、今年もよろしくお願い致します。

総務委員会 副委員長

(株)コモブチ
菺渕 勝弘



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年も監事の役を任されていますので、全うできるよう頑張っていく所存であります。組合員の皆様のパイプ役となれるように取り組んで参りますので宜しくお願いいたします。

結びにあたり、組合員皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

資材委員会 副委員長

(有)玉浦工業所
高尾 達也



新年明けましておめでとうございます。

組合の皆様には良き新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年の5月に行われました通常総会で監事の任を仰せつかり、早いもので半年が過ぎました。

まだまだ役員の仕事は分からないことばかりですが、少しずつ前に進んで組合の為に頑張っていければと思っています。

また、昨年10月に発足しました技術向上委員会(プロジェクトT)のリーダーを任されています。この会では、今後増えて来るであろう鉛管取替工事や配水本管工事の技術向上の手助けが出来ればと思っています。

特に配水本管工事に関しては我々組合員の受注がほとんどありません。こういった状況を打破するためにも見積を始め技能講習など具体的に出来ることを模索しているところであります。

まだ出港したばかりのプロジェクトですが、精一杯邁進して行きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

最後に組合員の皆様のご健勝ご活躍を心より祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

平成27年度 活 動 内 容

月 日	組合の主な動き
平成27年 8月4日	第3回 広報正副委員長会
8月6日	高松市上下水道局との協議会
8月11日	四役会
8月13～16日	事務局夏期休業
9月13日	第17回 坂出府中湖ドラゴンカヌー大会出場に伴う練習会(1回目)
9月14日	第4回 理事会(役員会)
9月27日	第17回 坂出府中湖ドラゴンカヌー大会出場に伴う練習会(2回目)
10月2日	第2回 鉛管取替工事等推進勉強会
	第1回 技術向上委員会開催
10月9日～11日	組合研修旅行(秋田・岩手方面)
10月12日	高松市民スポーツフェスティバル「トリムの祭典」参加
10月17日	ものづくりマイスター制度を利用した実技指導講習会(1回目)
10月20日	第5回 理事会(役員会)
10月23日	第2回 技術向上委員会開催 積算講習会開催
10月24日	ものづくりマイスター制度を利用した実技指導講習会(2回目)
10月30日	第42回 四市管工事組合連絡協議会(高松開催)
11月7日	給水装置工事配管技能検定(隔年開催)
11月14日・15日	かがわ技能フェスティバル 参加
11月21日	平成27年度 秋季組合ゴルフコンペ
11月24日	第6回 理事会(役員会)
11月28日	ものづくりマイスター制度を利用した実技指導講習会(3回目)
12月1日	平成27年度 臨時総会
12月4日～7日	第53回 技能五輪全国大会開催
12月7日	第4回 広報正副委員長会
12月11日	組合(天神前・勅使町分室)大掃除
12月14日	第5回 広報正副委員長会
12月21日	第6回 広報正副委員長会
12月29日～1月3日	事務局年末年始休業

役員会議事録

平成27年度 第4回理事会

- | | | |
|---|---|--|
| <p>9月2日 — 1. 上下水道局との協議会の結果について
 2. 技術向上委員会等の設置について
 3. 四国管工事組合連絡協議会
 (高松開催) について
 4. 給水装置工事配管技能検定会について
 5. 組合研修旅行について
 6. 組合ゴルフコンペについて
 7. ものづくりマイスター制度を利用した
 実技指導講習会について
 8. その他報告事項</p> | <p>① 今後の上下水道局との協議等について
 ② 納涼ビアガーデンについて
 ③ ドラゴンカヌー大会について</p> | <p>回答の周知と局からの指導事項の確認
 メンバー・開催日時の確認
 開催日時・内容について確認
 開催日時・内容について確認
 開催日時・内容について確認
 開催日時・内容について確認
 開催日時・内容について確認
 担当者レベルの協議会の追加
 反省・意見等
 開催日時・練習日等の確認</p> |
|---|---|--|

平成27年度 第5回理事会

- | | | |
|---|--|--|
| <p>9月28日 — 1. 四国管工事組合連絡協議会
 (高松開催) について
 2. 鉛管取替工事他推進事業について
 3. 給水装置工事配管技能検定会について
 4. その他報告事項</p> | <p>① 組合研修旅行について
 ② 組合ゴルフコンペについて
 ③ ドラゴンカヌー大会について</p> | <p>提出議題・回答者当のいついて確認
 積算システム講習の実施・第2回技術向上
 委員会開催日程について確認
 前日・当日の準備等について確認
 行先・日程・自己負担金等について確認
 メンバーが揃いにくい
 (開催日・曜日等について検討)
 結果報告(パフォーマンス賞 受賞)</p> |
|---|--|--|

平成27年度 第6回理事会

- | | | |
|--|---|--|
| <p>11月24日 — 1. 平成27年度臨時総会について
 2. 1・2級技能検定準備研修会
 (県連主催) について
 3. その他報告事項</p> | <p>① 四市管工事組合連絡協議会について
 ② 給水装置工事配管技能検定について
 ③ 組合ゴルフコンペについて
 ④ 技能五輪について
 ⑤ 年末・年始各行事について</p> | <p>日時・進行についての確認
 日時・担当者についての確認
 結果・総評
 結果・総評
 結果・総評
 開催日・出場者紹介
 予定・日程の確認</p> |
|--|---|--|

事業内容

● 坂出府中ドラゴンカヌー大会

H27.10.04 府中湖カヌー競技場



手に汗にぎるデッドヒート!



ベストパフォーマンス賞をいただきました

● 水道組合研修旅行 秋田方面

H27.10.09~11 コスモ工機・岩手三陸



1日目 目を皿のようにして視察



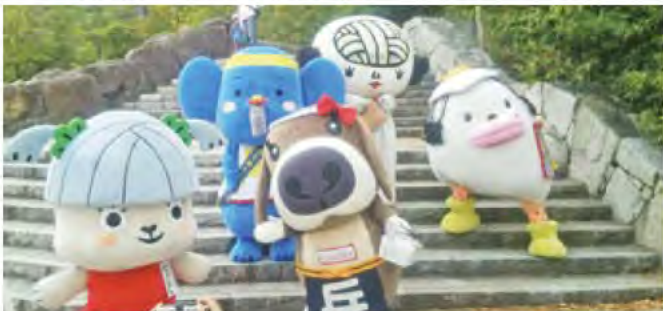
2日目 中尊寺金色堂(世界遺産)を胸に焼付けました。



3日目 大災害に圧倒されるも早い復興を祈りました

● 高松市民スポーツフェスティバルトリムの祭典(協賛事業)

H27.10.12 高松市中央公園



やっぱりウォータンが一番かっこいい



高松市のスポーツフェスティバルに協賛しています

● 四国四市管工事組合連絡協議会

H27.10.30 高松市塩江町 椋川(かばがわ)ダム



椋川ダムにて四市の管理者と共に四市役員一同和気あいあい



岩井理事長のあいさつ



施工中の椋川ダムを熱心に視察しました

事業内容

給水装置配管技能検定会

H27.11.07 川添浄水場



合格を念じて一生懸命



役員の皆様おつかれ様。また2年後よろしく～

かがわ技能フェスティバル2015

H27.11.14～15 サンメッセ香川



ウォータンが一番人気



イスいいね～
子供と一緒に体験手作り



パイプ自転車カッコイイ～

組合親睦ゴルフコンペ

H27.11.21 ロイヤル高松 CC



300ヤードショット!!



早朝は元気よかった専務理事のあいさつ



中川相談役が
優勝しました



理事長の来期優勝宣言です

事業内容

臨時総会

H27.12.01 リーガホテルゼスト高松



岩井理事長の挨拶。〈おつかれさま〜〉



〈なかよし水明会〉



受賞者の皆様、おめでとうございます



第53回 技能五輪全国大会 千葉大会

H27.12.05 幕張メッセ

▼浦川設備興業(株)
河野正統 選手の作品です。



▲浦川設備興業(株)
谷本大地 選手の作品です。



最後は審査員も揃って全員で記念撮影。お疲れ様でした。

天神前・勅使分室 大掃除

H27.12.11



今年一年お疲れ様でした



来年も宜しくお願いします

四市防災協定が再締結!!

第42回 四市管工事組合連絡協議会において

平成27年10月30日(金)

栗林公園内の新名所「商工奨励館」にて四市の水道局事業管理者立会いのもと、災害時における応急給水および復旧工事に関する『災害相互応援協定再締結』の調印式をおこないました。

- (写真左から)・高松市上下水道工事業協同組合 (岩井孝博 理事長)
 ・徳島市指定上下水道工事店協同組合 (篠野義秀 理事長)
 ・高知市管工事設備業協同組合 (濱田誠一 理事長)
 ・松山市管工事業協同組合 (宮本正一郎 理事長)



〈四国は一つやけん〉



〈いいね〜〉



特別名勝を背負って!



〈男前〉
ウォータン隊長の下



連絡協議会は四国4県の県庁所在地に籍をおく4つの水道組合が毎年 各組合の問題点や今後の課題などを協議しています。有事の際には本協定書に基づき、災害相互応援を行います。組合員の皆様にも応援をお願いする事が御座いますので宜しくお願い致します。

下記が概要

※四市管工事組合連絡協議会の各組合の地区が、濁水、地震、風水害等の災害時において、水道施設等に被害を受けた場合、罹災地区が速やかに給水能力を回復できるようにするため、四市管工事連絡協議会内の各組合の相互応援について締結。

岩井理事長へのホットライン!!

takamatusuidoukumiai@yahoo.co.jp 組合に関するご相談を是非お寄せ下さい。

高松市上下水道組合アドレス <http://takamatsu-jsk.com>

青年部会だより

『青年部研修旅行 in 名古屋からの全管連青年部協議会 in 群馬』

平成27年11月13日(金)～15日(日)で一日目は青年部会の研修旅行、二日目は全管連青年部協議会の第100回理事会、会員交流に参加してきました。

一日目は集合してバスで愛知県岡崎市にある(株)川本製作所岡崎工場の視察に14名で向かいました。工場到着後に工場の概要説明と製品紹介をしていただきその後ポンプの製造ラインの見学をさせていただきました。日ごろ設置することはあってもなかなか製造の現場を見る機会がなかったので川本さんの製品に対するお客様への思いやこだわりを知ることが出来ました。視察の後に名古屋市内に移動して名古屋市指定水道工事店協同組合青年部会さんと懇親会を行いました。なかなか他県の青年部の方と交流を持つことが少なかったので一人一人が仕事のことや組合のことについても高松とは違った部分を多く学ぶことができたと感じています。懇親会後は名古屋の方との二次会

へと夜の街へ消えていきました。

二日目の朝からは、高崎さんと私の2名で群馬で開催される全管連青年部協議会会員交流事業に参加する為、群馬に新幹線で移動しました。今期より出向するようになり新体制になってから初の理事会でした。青年部会長の交代もあり、今後の事業の方針や役員との交流が主体となる理事会でした。積水化学工業 伊勢崎工場の視察や視察後の懇親会、翌日は伊香保温泉で散策と裸の付き合い等々多くの方と関わりました。

三日間を通して全国の色々な会員さんと交流を持つ時間が持てたことで多くの学びや気づきを頂けたと感じています。2年間しっかりと学ぶことによって組合青年部の活性と自分の成長になるように頑張っていきたいと思います。

(株)三溪設備 渡邊 光一



水明会だより

秋の会 奈良 智子

新年あけましておめでとうございます。

皆様には健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

☆9月26日、水明会では秋の一日旅行に行きました。今回は、久しぶりにバスをチャーターしての【高知県奈半利町並み散策と霧の森】、17名の参加でした。

まずは、奈半利町。南国市から室戸方面へ走ったところにある海沿いの町です。ボランティアガイドさんの説明を聞きながら

一時間半、古い町並みを散策しました。ところどころに南海地震に備えて津波避難タワーがあるのが印象的でした。その後太平洋を眺めながらフランス料理の昼食を頂き、岩崎弥太郎の生家を見学。そして、帰り道には、道の駅・霧の森茶フェでひとやすみ。

足の運動もさることながら、食べて、お喋りをしてすっかり口の運動もできました。日頃の仕事のことはすっかり忘れて、子供のころに帰ったような楽しい一日でした。

☆11月28日、坂瀬池清掃ボランティアに水明会も5名の会員が青年部会さんと一緒に参加致しました。



新入職員紹介

事務局に新たに2名職員が加わりましたのでご紹介いたします。



廣瀬 見花 (ひろせ みか)

一、天神前事務所 経理業務
 二、朝ヨーグルト
 三、風呂上りのアイス
 四、何もないとこでつまづくようになった。
 五、時間
 六、ダイエツト
 七、オムライス
 八、納豆
 九、まだ不慣れで、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導の程よろしくお願いたします。

- 一、担当
- 二、日課
- 三、マイブーム
- 四、最近あった出来事
- 五、今欲しいもの
- 六、挑戦したいこと
- 七、好きな食べ物
- 八、嫌いな食べ物
- 九、一言

よろしく頼むよお〜。



大平 美香 (おおひら みか)

一、勅使町分室 受付・集計業務
 二、早朝のウォーキング
 三、DVDを見ながら猫とのんびり過ごす
 四、栗林公園のライトアップを親にいつてきました。寒かったですが心が和み癒されました。
 五、炊飯器
 六、ポジティブになる
 七、モッツアレラチーズ・トマト・辛水(梨)
 八、ウニ
 九、行き届かない点が多々あり、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、少しでも早く慣れて頑張りますので、ご指導よろしくお願いたします。

職員の異動



勅使町分室
受付・集計業務



資材のことを早く覚え、ご迷惑のないように頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



天神前事務所
資材販売業務

お世話になりました。

酒井 智子 (12月31日付け 退職)

松川 和幸 (11月 6日付け 再雇用退職)

〈酒井 智子さん〉 2年弱ですが、普段の業務からイベントに参加させて頂き、いい思い出となり組合員さん、事務局の方々にとっても感謝しています。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

高松市上下水道工事業協同組合 災害・緊急 漏水事故修繕ネットワーク組織表

H28.1



■今後の事業予定

2月～3月頃 修繕・メータ取替周知会

5月頃 第63回 通常総会

平成27年8月～12月 組合異動について

組合員・賛助会員等はありません

組合事務局異動について

廣瀬見花 (平成27年9月7日入社/天神前2階事務局勤務)
大平美香 (平成27年11月2日入社)/勅使町分室勤務)
馬場仁美 (平成27年11月より勅使町分室より天神前1階事務局へ異動)
酒井智子 (平成27年12月退職)
松川和幸 (平成27年11月再雇用退職)

編集後記

広報委員会として今年一番の事業は6月に行った組合ホームページの大幅リニューアルになります。

特に事業内容については事務局による写真主体で簡単なコメントを添えるSNS風の更新によってタイムリーな報告が出来るようになりました。

雰囲気も伝わり易く好評です。お気に入りの写真を見付けられた方はHPから画像を選択しダウンロードして頂く事も出来ます。

また、鉛管取替希望業者もHP上で掲載致しました。随時募集していますのでご希望の方は申し出下さい。水道パイプを使った工作のアイデアも募集予定です。

最後になりましたが本誌発刊にあたり、ご多忙中にも関わらず寄稿頂いた方々を始め、ご協力頂いた皆様方に深く感謝し、御礼申し上げます。

広報委員長 友澤 幹知